

【様式_高】	
島根県立邇摩高等学校 令和7年度 人権教育全体計画	
学校教育目標 中学校における教育の基礎の上に一般的な普通教育及び専門教育を行いながら、一般的な教養を高め、専門的な知識・技術及び社会人として必要となる能力を習得させ、人間性豊かで、将来の地域産業を担う職業人・社会人を育成する。	
人権教育推進上の目標 人権に関する諸課題を正しく理解するとともに、自他の人権を尊重し、多様性を認め合いながら、自らの人権感覚を磨き続けることができる生徒を育成する。	
具体的目標・方策 ① 子どもたち一人一人の学びの保障 ② 人権が尊重される環境づくり	
総務部	○修学資金に関する情報の確実な提供、手続き ・学年会・事務部との連携、外部関係機関との連携、HP等による情報発信 ○防災教育の充実 ○式典や学校行事等を通した意識啓発
総合学 科 研 究 部	○生徒の将来を見通したキャリア教育の充実 ・「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」における、生徒一人一人の主体的な取組を促す支援 ○実践的活動を通した自他を尊重する態度の育成 ・「産業社会と人間」の学習や邇摩高フェアを通した多様な価値観との出会いとコミュニケーション能力の向上
教務部	○生徒の成長を促す学習環境の整備 ・授業規律の確保、学びのユニバーサルデザイン推進、ICT機器の活用促進、通級指導の設置、合理的配慮の提供 ○教育相談活動の充実 ・定期的な面談週間の実施
図書 情 報 研 修 部	○図書館の環境づくり ・教科による図書選定、新聞配置による新聞学習、NSファイル学習による知的理解の促進、読書感想文等による読書習慣の促進、図書委員会活動（イベント・店頭選書）による図書館利用の喚起、読書啓発、カーリルやピクトグラム掲示による蔵書検索支援 ○PC教室の環境づくり ・一人一台端末配備による学びの拡大や深化 ・PC教室の配置や機器配備による学びの拡大や深化 ・教科や学年会・教職員と連携し図書的环境を用意、購入図書調査を介して学習補助になる図書の購入を行う ・NSファイル学習における人権学習、人権啓発ポスター掲示に併せた人権関連図書展示 ・一人一台端末の使用に困難を来す生徒を支援
生徒 指 導 部	○自己実現に向けて主体的に取り組む態度の醸成 ・部活動へ積極的に参加するよう促進する。 ・部活動や委員会の枠を越えて一体となった活動を計画・実施する ・生徒主体で達成感がもてる生徒会活動を創造する。 ・邇摩高を考える会など、生徒が自らの考えを述べる機会を有効に活用し、生徒の自己肯定感を高める ○地域の体験的な学習活動への積極的参加の促進 ・ボランティア活動や系列の学習活動などに積極的な参加を促進する。 ・場にふさわしい振舞・言葉遣いとコミュニケーション能力を高める。 ・挨拶の励行と身なり指導の徹底を図る。 ○多様性を認め、自他ともに尊重し、共感できる人間関係の育成 ・「学校生活アンケート」を実施し、いじめ等の未然防止に努める。また、集会などを通して多様性の理解・啓発を行う。 ・日常の会話や観察を通して担任、学年会、系列との連携を図り、生徒の変化の早期発見に努める。 ・保健部、人権教育推進スタッフ、特別支援教育スタッフと連携し、多面的に生徒を捉え、指導にあたる。
進路 指 導 部	○進路情報の積極的な提供と発信 ・進路行事や進路集会を通した情報提供 ○キャリア教育の充実 ・就職差別につながる14事項の確認、関係機関との連携

保健部	○健康の維持・増進を図る ・生徒保健委員会による活動、感染症対策や健康管理が徹底できる保健指導、健康診断、専門家による講話等の実施 ○相談活動の充実 ・職員間での情報共有、外部機関と連携、各種委員会の開催やスクールカウンセラーの活用 ○学習環境の整備と施設の保全 ・生徒保健委員会による活動、学習環境の整備、清掃活動と施設及び設備の安全点検	・生徒保健委員会の開催、衛生委員会の開催 ・健康診断の実施と外部講師等による講演会の開催 ・学年会・分掌・スクールカウンセラーとの連携、外部機関や各種委員会の活用 ・掲示や集会、放送等での啓発活動、定期的な施設の点検
	○健康の保持 ・生活環境の衛生、毎日の検温や点呼時の健康確認、清掃指導と私物の整理整頓 ○学習環境・生活環境の整備と確保 ・学習時間の確保、外部舎監と連携して職員間での情報共有、施設の整備	○互いに思いやりを持ち、安全安心できる生活の保障 ・ミーティングや余暇における活動を通して人間関係作り ・外部舎監からの報告や個人面談などから、必要に応じて集団生活におけるマナーやルールを守ることの重要性を示し、生徒の不安感をなくす

生徒に身に付けさせたい資質・能力

③ 人権に関する知的理解と人権感覚の育成			
	人権に関する知的理解	人権感覚	
	知的側面	価値的・態度的側面	技能的側面
一 学 年	・他者を知り、良好なコミュニケーションをとるための方法についての理解 ・科学的知識をもとにした身近な人権問題についての理解	・自分の特徴を理解し、他者と主体的に関わろうとする意識、意欲、態度 ・自他の人権を尊重する意識、意欲、態度	・他者とのコミュニケーションの技能 ・お互いを認め合い、よりよい人間関係を築くための技能
二 学 年	・いじめや差別の構造についての正しい理解 ・身の回りのさまざまな人権課題や、その解決に向けた取り組みに関する正しい理解	・いじめや差別を自己の課題としてとらえ、解決しようとする意欲 ・人権が尊重される社会づくりへ向かうとする意欲や態度	・いじめや差別を進んで解決するための判断力と実践力 ・人権課題をはじめとする様々な社会的課題に対する科学的・合理的な見方
三 学 年	・就職差別や結婚差別にかかわる事象に対する正しい理解	・人間性豊かで、自他ともに尊重し認め合おうとする態度と意欲 ・身近な偏見や差別を見抜き、それを許さない態度と意欲	・「差別しない」だけでなく周囲に対して正しい知識を伝えていくことができる「差別させない」力 ・社会に出る責任を自覚し、相手や場面に応じた、適切な言動ができる力